



2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 TOKAIホールディングス

証券コード：3167

2023年11月9日



©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.



2024年3月期 第2四半期 決算実績



©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

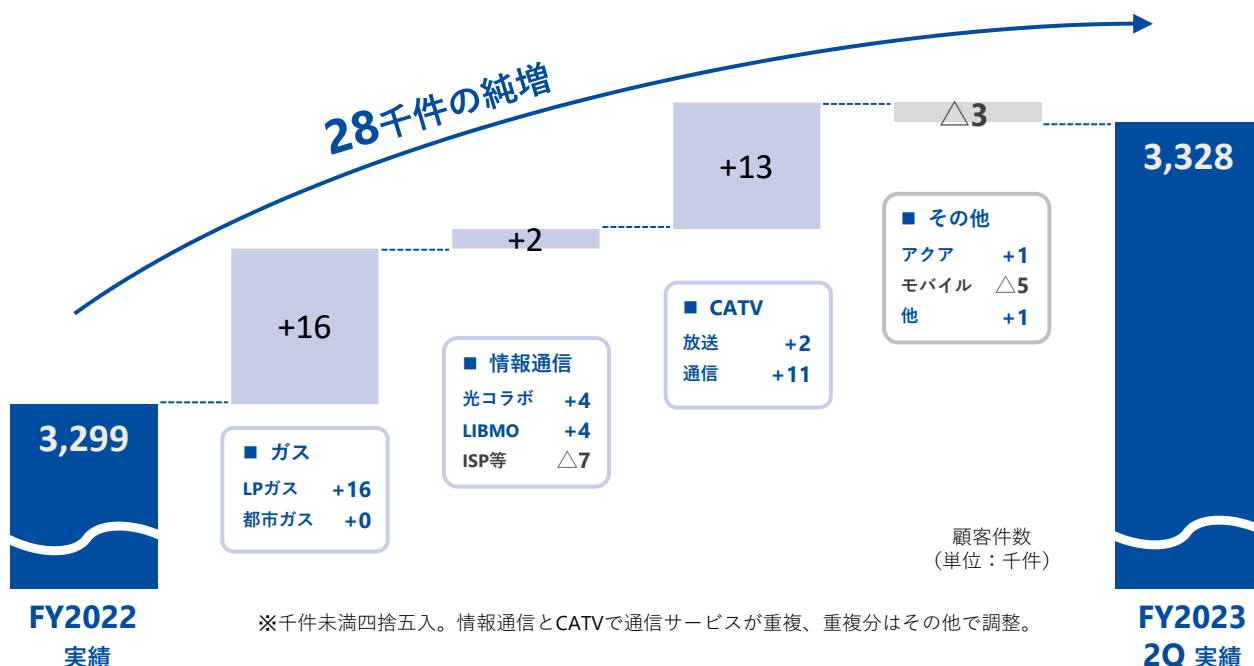
- 売上高は、エネルギー、CATV等の顧客件数増加や法人向け情報通信事業の拡大等により、3期連続の増収、過去最高を更新
- 利益面は、高気温等による家庭用ガス販売量の減少等があった一方で、顧客件数増加に伴う月次課金件数の増加等による増益を計上したこと等により、営業利益は前年同期並み
- 経常利益、四半期純利益は前期に発生した持分法投資損失の負担が軽減され、大幅に改善

	当期実績 (FY2023_2Q)	前期 (FY2022_2Q)	前期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	105,226	104,110	+1,115	+1.1
営業利益	4,254	4,253	+1	+0.0
経常利益	4,355	2,432	+1,923	+79.1
四半期純利益	2,219	147	+2,072	+1,403.4
1株当たり四半期純利益	17.00	1.13	+15.87	+1,406.6

(売上高・利益：百万円、1株当たり純利益：円)

主力事業が堅調に顧客基盤を拡大

- 当2Q末の継続取引顧客件数は3,328千件と、期首の3,299千件から28千件増加
- ガス事業、CATV事業、光コラボ、LIBMOが収益基盤のさらなる拡充を進捗



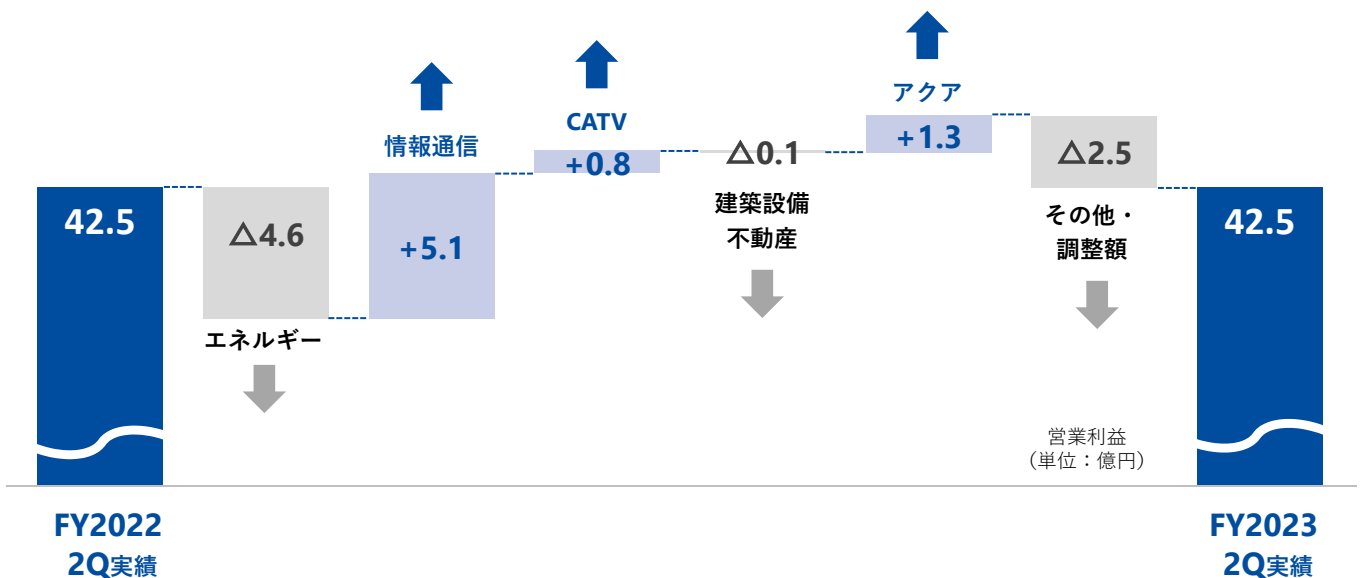
※千件未満四捨五入。情報通信とCATVで通信サービスが重複、重複分はその他で調整。

		当期実績	前年実績	前年比	増減率
売上高	エネルギー	42,952	44,053	△1,101	△2.5%
	情報通信	27,457	26,078	+1,378	+5.3%
	CATV	17,732	16,574	+1,157	+7.0%
	建築設備不動産	10,943	11,486	△543	△4.7%
	アクア	3,883	3,838	+44	+1.2%
	その他	2,257	2,077	+180	+8.7%
	計	105,226	104,110	+1,115	+1.1%
営業利益	エネルギー	869	1,330	△460	△34.6%
	情報通信	2,828	2,320	+507	+21.9%
	CATV	3,135	3,052	+82	+2.7%
	建築設備不動産	578	589	△10	△1.8%
	アクア	364	234	+129	+55.1%
	その他・調整額	△3,520	△3,274	△247	-
	計	4,254	4,253	+1	+0.0%

※営業利益は間接費用等配賦前ベース

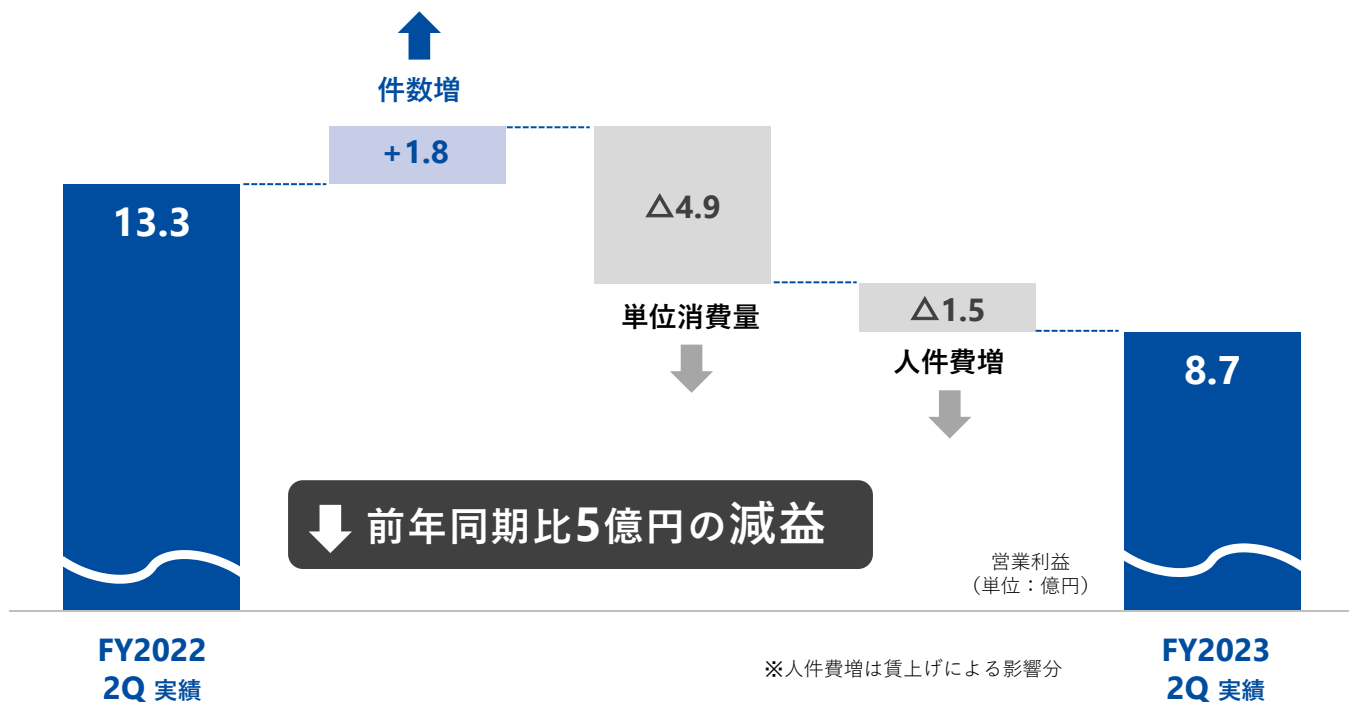
セグメント別営業利益の増減

- エネルギーは高温等による家庭用ガス販売量の減少等により減益
- 情報通信事業は、コンシューマー向け事業で顧客獲得費用を抑制したこと等により増益
- CATV、アクアは顧客件数の増加等により増益



※営業利益の増減数値は間接費用配賦前ベース

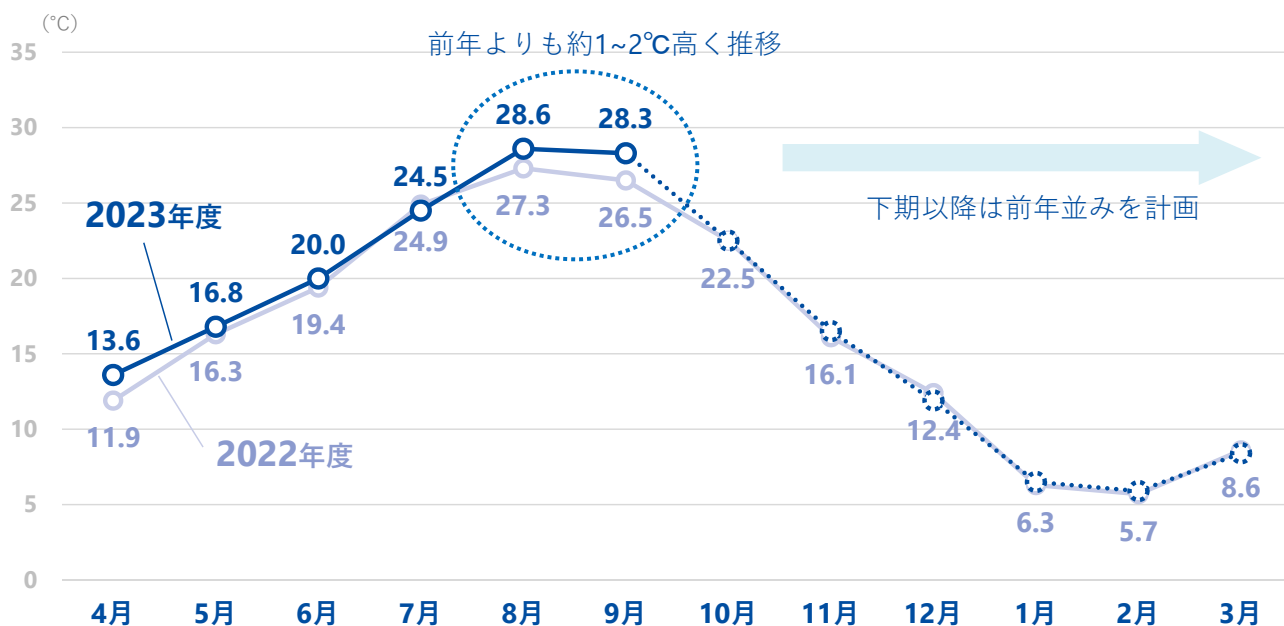
- 引き続き積極的な顧客獲得を推進し、顧客件数増加による増益を計上
- 高温による家庭用ガス販売量の減少や賃上げによる人件費の増加等により減益



平均気温の推移

- 2023年度上期（4月～9月）は前年よりも高めに推移
- 下期（10月～3月）以降はほぼ前年並みの計画

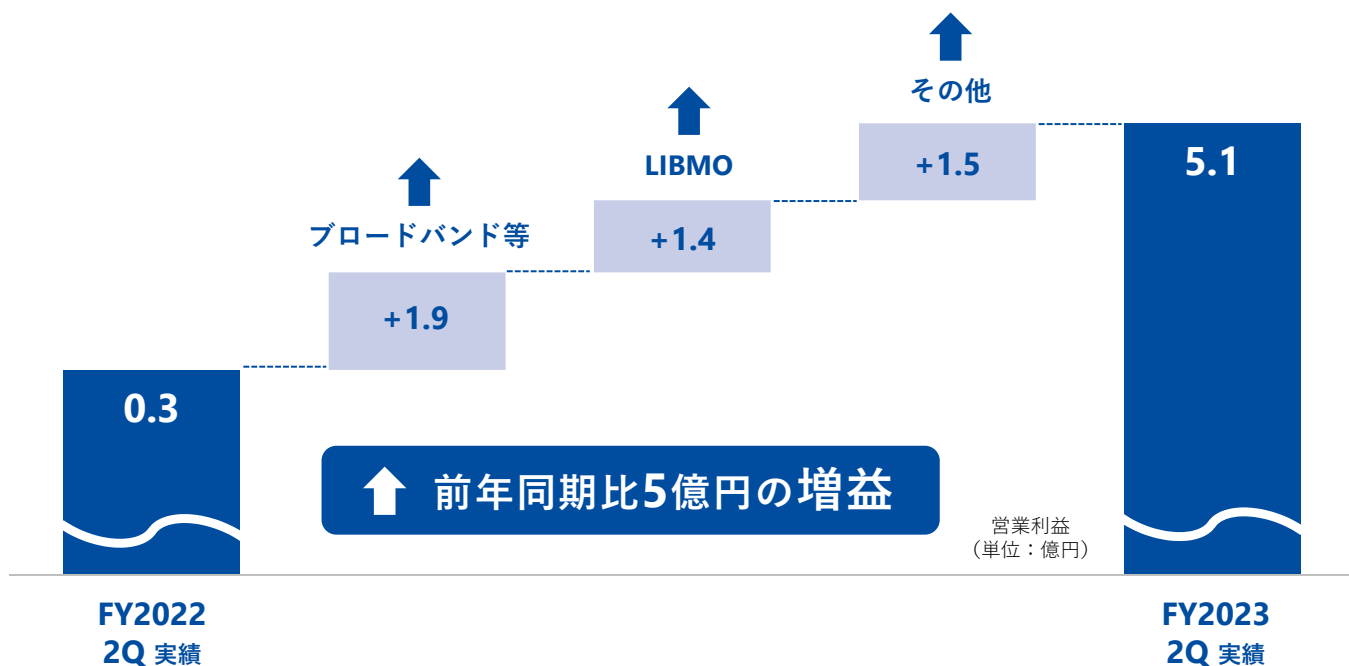
月次平均気温の推移



(出所) 気象庁より

セグメント別営業利益（情報通信 コンシューマー向け事業）

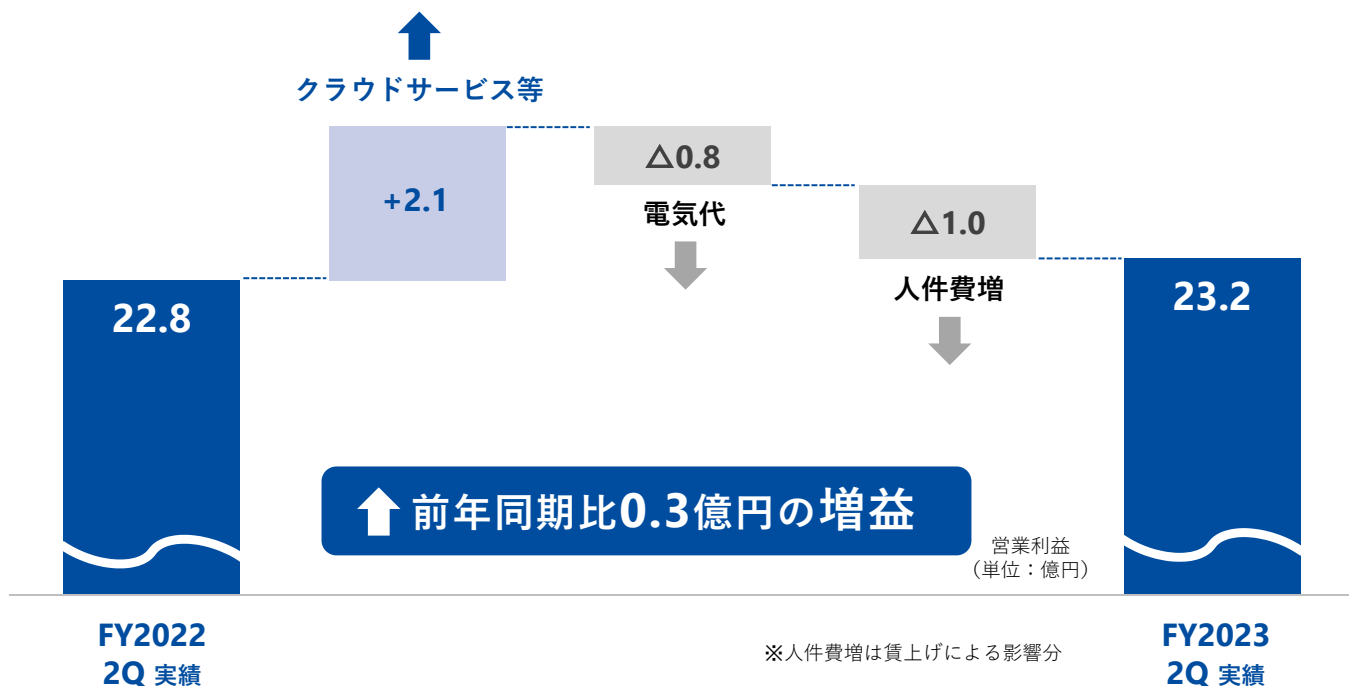
- ブロードバンド、LIBMOは顧客件数の増加により増益
- 獲得ルートの見直し等で獲得費用を抑制したことで増益、前年同期比では5億円の大増益



9

セグメント別営業利益（情報通信 法人向け事業）

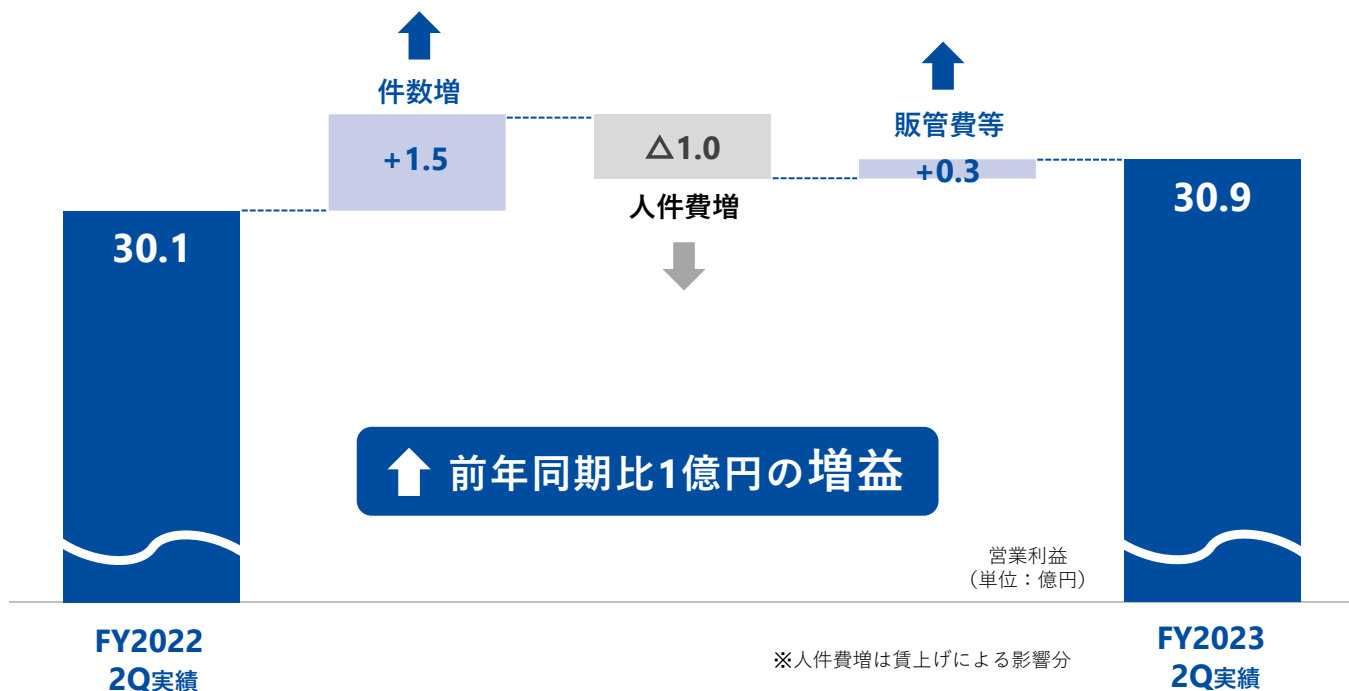
- クラウドサービスやキャリアサービス等が順調に推移し増益
- 電気料金高騰や賃上げによる人件費増加の影響あり



10

セグメント別営業利益（CATV）

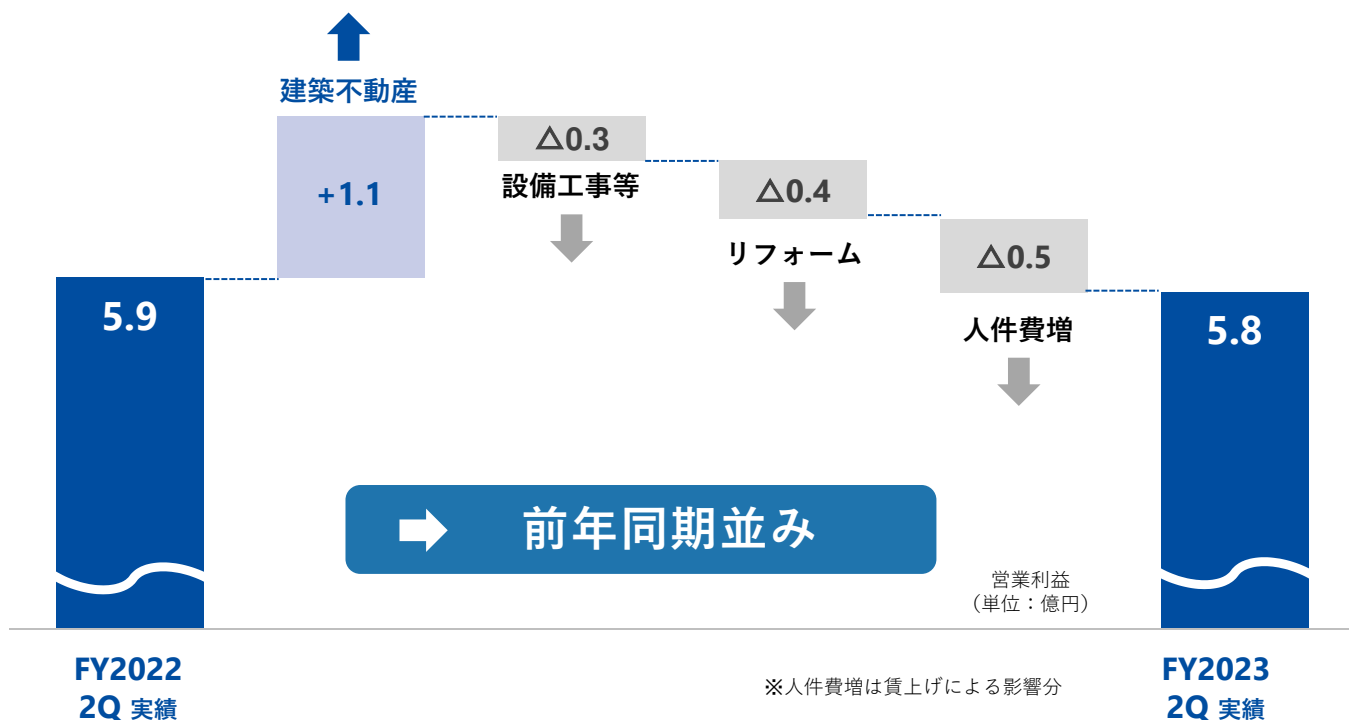
- 積極的な営業活動を推進し顧客基盤を拡大したことで、顧客件数増加による増益を計上
- 賃上げによる人件費増によるマイナス影響あるが、販管費を抑制したことで前年同期比1億円の増益



11

セグメント別営業利益（建築設備不動産）

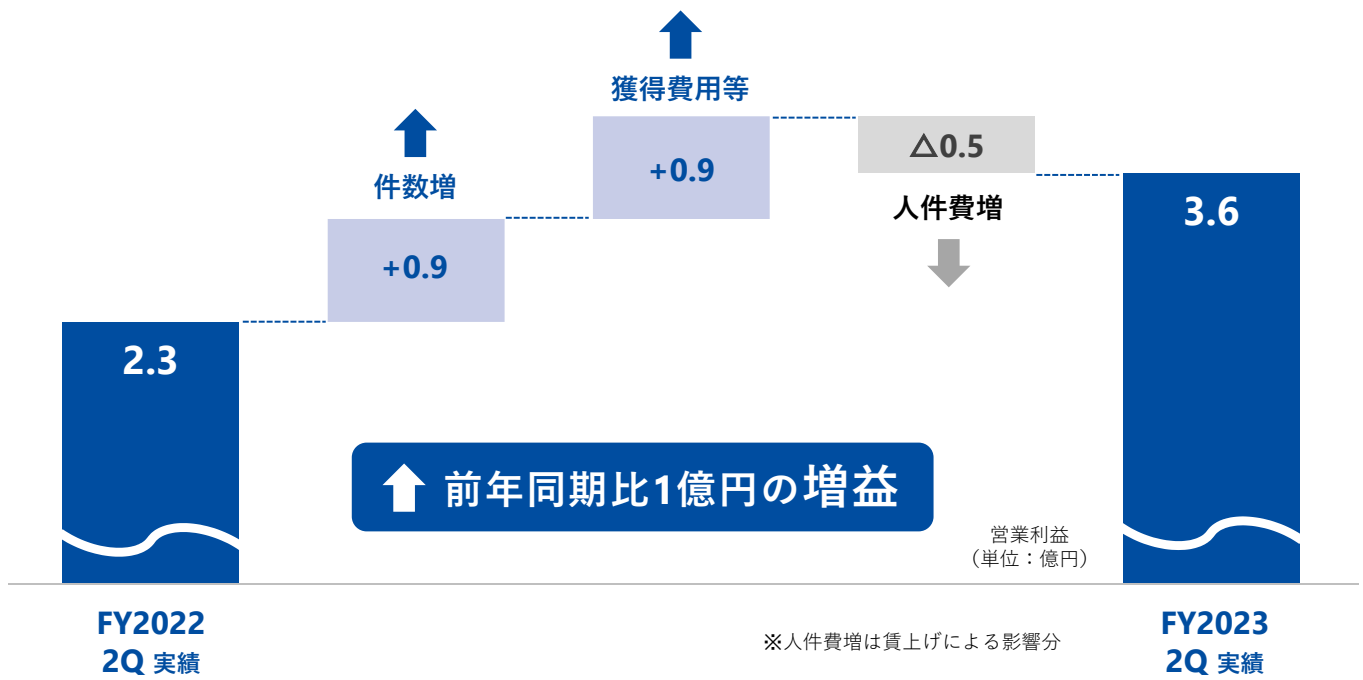
- 建築不動産等は不動産賃貸や建物管理サポート等が好調に推移したことで増益
- 設備機器・工事やリフォームは受注案件の遅れ等により減益



12

セグメント別営業利益（アクア）

- 大型商業施設等での催事営業に加えて、WEB獲得やテレマーケティング等の非対面営業も実施
- 顧客件数の増加や獲得単価見直し等による獲得費用の減少等で前年同期比1億円の増益



2024年3月期 通期業績予想

通期の連結業績予想

- 売上高は主要事業を中心に引き続き顧客件数の増加、エリア拡大による増収を計画
- 営業利益は獲得強化及び人財活性化に向けたコスト等を織り込み前年並み
- 経常利益、当期純利益は前期発生した持分法投資損失の負担が軽減され、大幅に改善

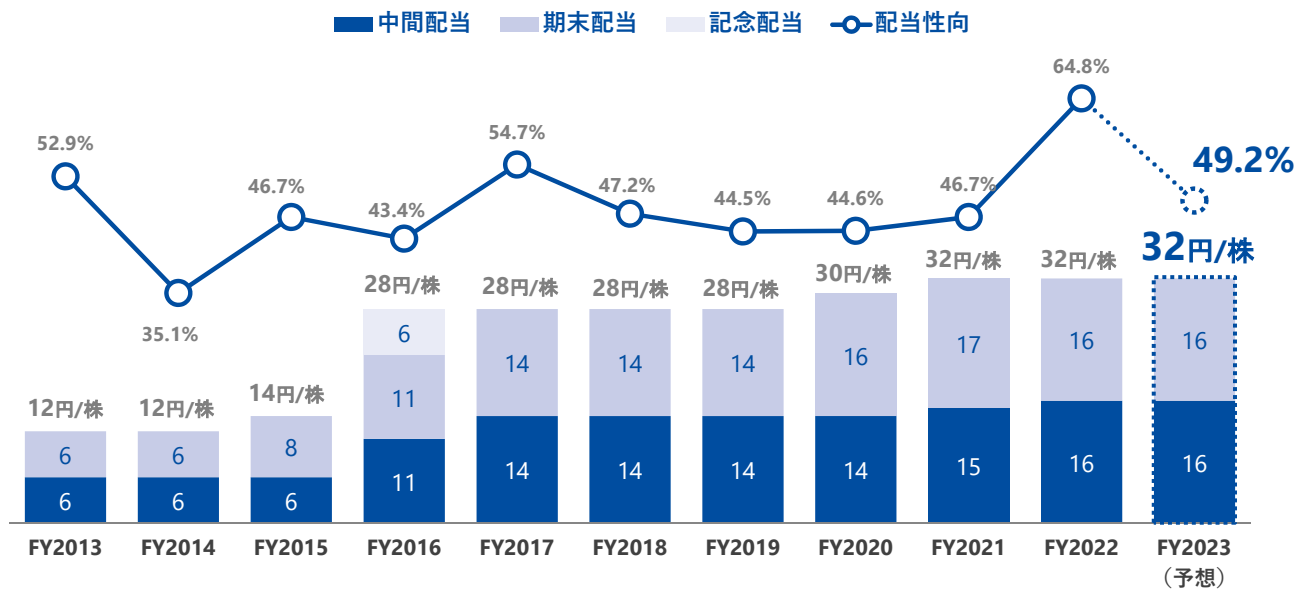
(単位：百万円)

	当期予想 (2023.4.1～2024.3.31)	前期実績 (2022.4.1～2023.3.31)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	240,000	230,190	+9,810	+4.3%
営業利益	15,000	14,919	+81	+0.5%
経常利益	15,000	13,289	+1,711	+12.9%
当期純利益	8,500	6,465	+2,035	+31.5%
1株当たり純利益	65.10円	49.41円	+15.69円	+31.8%
期末顧客件数	3,384千件	3,299千件	+84千件	+2.6%

15

配当予想

- 継続的かつ安定的な配当に努めていく方針のもと、中間配当16円/株、期末配当16円/株、年間で32円/株を計画
- 配当予想（2023年5月9日公表）に変更なし



16

① 事業収益力の成長

- ・三重県伊勢市にLPガス事業所を新設、事業エリアや顧客基盤を拡大
- ・新規事業の面でも、静岡県で2つのキャンプ場を運営開始予定

② 持続的成長基盤の強化

- ・脱炭素化社会の貢献を目指し、自社施設の省エネ化・脱炭素化を進め、お客様向けには太陽光発電のPPAモデル（TOKAI ZERO SOLAR）などの環境商品を拡販

③ 人財・組織の活力最大化

- ・給与制度の改革、子育て支援策の充実、リスクリング制度などを導入

17

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

金額は百万円未満切り捨て、それ以外を四捨五入で表示しております。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス 広報・IR室

〒420-0034 静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

TEL：(054) 273-4878

FAX：(054) 275-1110

<https://www.tokaiholdings.co.jp>

e-mail：hd-info@tokaigroup.co.jp

うれしいをつなぐ。ひろげる。



18